夏の蜘蛛　下田と天城

高　島　春　雄　(採集)
東京市本郷區駒込曙町5

植　村　利　夫　(査定)
東京市瀧野川區西ケ原町310

(昭和11年9月5日受領)

7月15日から19日迄伊豆下田で第2回の蜘蛛採集を試みた。相當熱心に採集したのだが何分經驗淺き人間とて珍寶を拾ひ得なかつたのは後段の目錄に示す通りである。併し夏の下田の蜘蛛相を窺ひ得ると思ひ敢て揭げる。滯在中7月17日を期して宿望の天城登山を行つた。同行者は嘗ての「植物及動物」編輯主任，現在は文理大臨海實驗所常住職員豐增務夫學士である。豐增，高島の組合せで相携へて天城山に採集するなど今年の3月頃迄誰が想像し得られやう。全く運命の不可思議を嘆ずる計りである。午前8時10分下田町內の東海自動車發着所から修善寺行の乘合に乘り込む。かの「有難うさん」の操縱する橙色の大型自動車である。天城登山口まで約1時間半，往復運賃230錢だから相當なものである。修善寺經由で逆に來られる士は矢張り東海自動車で天城登山口卽ち天城隧道の手前で降りれば宜い。山又山の九十九折をハンドルを左旋し或は右旋しチンドン屋みたいな足取りで疾驅するのであるから，車掌孃が「下は地獄でも上は極樂」の說明の文句も餘りあてにならぬと豐增氏と笑ひ合つた。とてもヒヤヒヤさせられる個所がある。此の車掌孃聲は低いが愕くべき美文調の名文句で次々と車窓より望見出來る名所舊蹟の說明をして吳れる。戰國時代の豪傑の爭覇から天城山の成因にまで及び餘り美文過ぎて嘔吐を催しさうな部分もあつたのを彼の女の言葉を借りて「皆樣宜しく御推察下さいませ」。天城隧道を

通り抜けると天城登山口である。朝來甚だ陰欝な天氣で豐増氏を引張り出した手前心中暗澹たるものがあつたが，車が天城にかゝる頃から陽光雲間に燦めき暑からず寒からず絕好の日和となる。おまけに登山道は坦々としてとても樂だし獲物は應接に遑無く今迄度々採集もしたが此時位娯しい思ひをしたことが無い。交通不便の故を以てハイカーも稀だし採集家などには決して邂逅しない。全く惜しい所である。蜘蛛はもとよりザトウムシ・ダニ・馬陸・結閥類・サハガニ・昆蟲（殊に蝶と蟬）から腹足類まで採るといふ慾張り方で道は中々捗らない。程よい所で豐増氏が持參して下さつた握り飯を頂戴して一服したが，山中に頗る多いキマダラヒカゲがおかずの所へ五月蠅くやつて來て，氏が嫌がつて之を逐ふのは可笑しかつた。斯くしてハイカーなら1時間50分で達すると云ふ八丁池まで吾々は3時間を費して到着した。トンネルは海拔750米であるが八丁池の所は1237米になつて居り吾々は其處で引返したが連山の最高峰萬三郎岳は1405米に及ぶ。名に負ふモリアヲガヘルの卵塊は時季遲く一つも見られなかつたが豐増氏は實驗材料たるヰモリの採集に活躍を始め30分とかからぬに百數十頭をせしめ非常に悦んで居られた。天城山は伊豆の田方賀茂兩郡界に跨がり此の山以南の地は所謂奥伊豆或は南伊豆である。採集は八丁池迄で十分で頂上を極めるのはハイカーの領域だ。天城の動物相は未だ殆ど闡明されて居らぬ樣で蜘蛛の採集にしても私達二人が多分嚆矢であらう。其の意味で後段の査定成績は注目に値し下手な案內記をものした所以も諒承して頂けると惟ふ。歸りは水生地（スイショーチと讀む）に出る路を採るのが慣ひで私達も之を下つた。今上陛下も此處をお下りになつたのだが往路よりも嶮阻だしおまけに道を間違へて渡るにつらき丸木橋，脚下の溪流に落ちもやせんと肝を冷した。自動車が2時間置きにしか通らぬので道路で待ち詫びるのは心細いものである。夜の道をヘツドライトを賴りに進むバスに搖られて下田に着いたら8時過ぎ。斯んなに遲くなるのもどうかと思ふから始めて行かれる御方は歸りのバスの時刻を豫め研究しそれに應じて登り且つ下りすることが肝要であらう。色々御面倒をおかけした豐増學士と地理上の知識を與へて下さつた尾原信彥學士に鳴謝する。

下田の部

Fam. THERIDIIDAE ひめぐも科

1. *Lithyphantes dubius* Doenitg et Strand ヌサグモ
2. *Theridion japonicum* Boesenberg et Strand ヒメグモ
3. *Theridion tepidariorum* L. Koch オホヒメグモ

Fam. ARGIOPIDAE こがねぐも科

4. *Argiope amoena* L. Koch コガネグモ
5. *Argiope bruennichi* (Scopoli) ナガコガネグモ
6. *Araneus nauticus* (L. Koch) イヘオニグモ
7. *Araneus ventricosus* (L. Koch) オニグモ
8. *Leucauge blanda* (L. Koch) シロガネグモ
9. *Nephila clavata* (L. Koch) ヂヨラウグモ
10. *Singa sp.* シンガー種
11. *Tetragnatha praedonia* L. Koch アシナガグモ
12. *Tetragnatha japonica* Boesenberg et Strand ヤサガタアシナガグモ

Fam. PISAURIDAE きしだぐも科

13. *Dolomedes angustivirgatus* Kishida スヂボソハシリグモ
14. *Dolomedes sulfureus* L. Koch イワウイロハシリグモ

Fam. LYCOSIDAE どくぐも科

15. *Lycosa T-insignita* Boesenberg et Strand ウヅキドクグモ

Fam. OXYOPIDAE さゝぐも科

16. *Nishina generosa* Kishida ニシナグモ

Fam. AGELENIDAE たなぐも科

17. *Agelena limbata* Thorell クサグモ
18. *Agelena opulenta* L. Koch コクサグモ

Fam. THOMISIDAE かにぐも科

19. *Misumena tricuspidata* (Fabricius) ハナグモ
20. *Xysticus ephippiatus* Simon ヤミイロカニグモ

Fam. SALTICIDAE はへとりぐも科

21. *Plexippus paykulii* (Audouin) チヤスヂハヘトリ
22. *Rhene atrata* Karsch カラスハヘトリ
23. *Menemerus confusus* Boesenberg et Strand ハヘトリグモ

Fam. CLUBIONIDAE ふくろぐも

24. *Clubiona jucunda* Karsch ヤハズフクログモ
25. *Clubiona sp.* フクログモ一種

Fam. HETEROPODIDAE あしだかぐも科

26. *Heteropoda venatoria* (Linnaeus) アシダカグモ

Fam. CTENIDAE しぼぐも科

27. *Anahita fauna* Karsch ドクグモモドキ

天 城 山 の 部

Fam. ULOBORIDAE うづぐも科

1. *Uloborus sp.* ウヅグモ一種

Fam. LINYPHIIDAE さらぐも科

2. *Linyphia nipponica* Kishida ヒラサラグモ

Fam. ARGIOPIDAE こがねぐも科

3. *Araneus sp.* オニグモ一種(幼)
4. *Leucange blanda* (L. Koch) シロガネグモ

Fam. PISAURIDAE きくだぐも科

5. *Dolomedes pallitarsis* Boesenberg et Strand スヂブトハシリグモ

Fam. LICOSIDAE どくぐも科

6. *Lycosa virgata* Kishida　スデドクグモ
7. *Lycosa sp.*　ドクグモ一種(幼)

Fam. THOMISIDAE かにぐも科

8. *Oxytate striatipes* L. Koch　ワカバグモ
9. *Pistius truncatus* (Pallas)　タンバグモ

Fam. SALTICIDAE はへとりぐも科

10. *Plexippus paykulli* (Audouin)　チヤスヂハヘトリ
11. *Rhene atrata* (Karsch)　カラスハヘトリ

8月中旬から下旬にかけ4日程亦下田に滯在した。臨地夏季大學のお手傳ひをしたので蜘蛛は採るには採つたが相當採集洩れがあつた様に想ふ。8月11日には黒澤美房氏,末永かう女史,蛭田好一氏の方々と共に2度目の天城登山をやつた。連日の旱天が祟つて採集成績は此の前の時より少し寂しい。前回豐増氏と晝食を偕にした所には確かに瀧が落ちて居たのが,來て見ると水が全く涸れて形跡を留めず之を頼りに登つて來られた末永女史にはお氣の毒な次第であつた。八丁池まで水がぐんと減つて水邊に沿つて行幸記念碑まで歩いて行ける。それと知らず見晴し臺から池を俯瞰した際行くのに便利な様に水邊の雜叢を刈り取つたのだらうと想像したのは笑止であつた。今日は捕蟲網を持つたのが3人居るし池畔で矢張り網を持つた少年に遭つた。遊山の客も相當ある。記念碑の側の茶店の人に斯ういふ恰好でやつて來る人が他にもあるかと訊いたら近頃は仲々多いとのことで油斷がならぬ。記念スタムプはモリアヲガヘルを象り仲々面白いもので集印癖の無い私も打棄てゝ置かれず菓子の空袋に三つ四つ押して來た。歸りは注意して迷はず水生地に下りることが出來,天城隧道まで歩きバスを待つて下田に歸還した。下田及び天城の蜘蛛は下掲の通り。

下　田　の　部

Fam. ULOBORIDAE うづぐも科

1. *Miagrammopes orientalis* Boesenberg et Strand マネキグモ

Fam. THERIDIIDAE ひめぐも科

2. *Theridion tepidariorum* C. L. Koch オホヒメグモ

Fam. ARGIOPIDAE こがねぐも科

3. *Araneus nauticus* (L. Koch) イヘオニグモ
4. *Araneus scylla* (Karsch) ヤマシロオニグモ
5. *Araneus scylloides* Boesenberg et Strand サツマノミダマシ
6. *Argiope minuta* Karsch コガタコガネグモ
7. *Leucauge blanda* (L. Koch) シロガネグモ
8. *Nephila clavata* L. Koch デヨラウグモ
9. *Tetragnatha japonica* Boesenberg et Strand ヤサガタアシナガグモ

Fam. PISAURIDAE きしだぐも科

10. *Dolomedes sulfureus* L. Koch イワウイロハシリグモ

Fam. LYCOCIDAE どくぐも科

11. *Lycosa sp.* ドクグモ一種

Fam. OXYOPIDAE さゝぐも科

12. *Nishina generosa* Kishida ニシナグモ

Fam. THOMISIDAE かにぐも科

13. *Misumena tricuspidata* Fabricius ハナグモ
14. *Pistius truncatus* (Pallas) タンバグモ
15. *Thomisus albus* Gmelin シロアヅチグモ
16. *Xysticus ephippiatus* Simon ヤミイロカニグモ

Fam. SALTICIDAE はへとりぐも科

17. *Plexippus paykulli* (Audouin) チヤスヂハヘトリ

Fam. HETEROPODIDAE あしだかぐも科

18. *Heteropoda venatoria* (Linnaeus) アシダカグモ

天城山の部

Fam. ARGIOPIDAE こがねぐも科

1. *Araneus sp.* オニグモ一種(幼)
2. *Cyclosa argenteoalba* Boesenberg et Strand ギンメツキ

Fam. PISAURIDAE きしだぐも科

3. *Dolomedes pallitarsis* Boesenberg et Strand スデブトハシリグモ
4. *Dolomedes sulfureus* L. Koch イワウイロハシリグモ

Fam. AGELENIDAE くさぐも科

5. *Coras insidiosus* (L. Koch) イホグモ

Fam. THOMISIDAE かにぐも科

6. *Oxytate striatipes* L. Koch ワカバグモ

Fam. SALTICIDAE はへとりぐも科

7. *Sitticus sp.* ハヘトリグモ一種

Fam. CLUBIONIDAE ふくろぐも科

8. *Clubiona japonicola* Boesenberg et Strand ハマキフクログモ

第二回蜘蛛採集會豫告

去る七月五日第一回蜘蛛採集會を天覽山に開催致し，其の概況は第二號に報告しておきましたが，同山には別稿にも記した通りカネコトタテグモの如き珍品を產する他，多數の貴重な收穫があり，秋の採集會も天覽山で開催してはとの希望も相當ありましたので，今回協議の上再び昆蟲趣味の會と合同主催として，第二回の蜘蛛採集會を，天覽山に開催する事に決定致しました。

10月25日（雨天ならば次の日曜）午前8時武藏野線池袋驛集合。往復電車賃は一圓二十錢です。時間に遲れない樣注意して多數御參會下さい。

尙第一回の採集品目錄は本號に揭載する筈でしたが都合上來年に延期し，第二回の採集品と合せて發表致す豫定です。 （植村記）